

『だいず畑』の畦間・株間にバスタ! 問題の帰化アサガオ類も効率的に枯らせます。



畦間・株間散布のポイント

- 雑草の草丈が小さいうち(草丈30cm以下が目安)に散布してください。
- だいずの収穫28日前まで(株間処理は本葉5葉期以降から)使用できます。
- 吊り下げノズルなどの散布装置を使うことで、除草作業を省力化できます。
- だいず(本葉)にかからないように散布してください。



3連吊り下げノズル

吊り下げノズルに関するお問合せは、お近くの農機店にお願いいたします。

◎吊り下げノズルの高さ・幅の上手な調整方法

○ ちょうどいい

○ 畦間の雑草高が伸びすぎないうちに散布してください。大豆本葉にかからないよう、ノズルの高さ・幅を設定するのが大切。

× 低すぎる

× 散布ノズルが低いと、雑草全体に散布液がかかりません。

× 高すぎる

× 雑草が伸びすぎると、散布ノズルの位置が高くなり、大豆に飛散してしまいます。

*「えだまめ」「豆類(種実、ただし、だいずを除く)」には株間処理の適用がないのでご注意ください。

◎畦間散布後の様子(だいず畑)



◎つるが厄介な「アメリカアサガオ」にも!

バスタなら、**200倍**散布で枯らせます!

だいずの畦間・株間散布については、こちら!